

しまうー「な、なんなんですか！その恰好は」



マーズとヴィーナスは上半身はセーラ戦士を思わせるような服、そして下半身はハイレグのレオタードのような服装をしており、二人のグラマラスな身体をより一層際立たせていた

マーズ「ふふこれが私たちのユニフォーム♪ようこそセーラースマイル研究所へ♪」

ヴィーナス「まずは二人の緊張をほぐすために軽くいきますか♪」

ヴィーナスはそう言って指をパキポキ鳴らしながら風香の前に行き

マーズ「そうね、よろしくしまうーちゃん♪」

マーズはしまうーの前に回り込んだ

風香としまうーは不安げな表情を隠せない

マーズ「では…イツツ」

ヴィーナス「ショータイム♪」

風香「あひゃひゃひゃ...はあ...！！あはははははっ！！ほんとにい！あはははははははあっ

